

参加者説明会

今回は実施いたしません。

<http://www.aoba-matsuri.com>

2 28
3 10
3 17
3 27

仙台・青葉まつりの歴史と今

江戸時代、仙台藩最大の祭りが「仙台祭」でした。この祭りは明暦元年（1655）仙台東照宮の例祭として始まり、最大70基余りの山鉦が城下を練り歩きました。

明治時代になると、伊達政宗公を祀って明治7年に創建された青葉神社の例祭（政宗公の命日である5月24日に行われ、青葉祭りとも呼ばれた）が盛んとなり、明治18年（1885）の政宗公没後250年祭には山鉦巡行のほか、すずめ踊りが披露されました。

現在の仙台・青葉まつりは、伊達政宗公没後350年を迎えた昭和60年（1985）に、長年途絶えていた「青葉まつり」を市民の祭りとして復活させたもので、伝統芸能であるすずめ踊りの普及にも努め今回で39回目を迎えます。

この間、2011年には東日本大震災が発生、まつりは中止となりましたが、6月に「仙台すずめ踊り」を開催する等、被災した多くの市民を励まし、元気づけたのが仙台すずめ踊りの演舞でした。

お問い合わせ・お申し込み先

仙台・青葉まつり協賛会事務局

〒980-0012 仙台市青葉区錦町一丁目3-9 仙台市役所錦町庁舎3階

TEL 022-223-8441 / FAX 022-223-4941

E-メールでのお申し込み・お問い合わせ info@aoba-matsuri.com

39

仙台すずめ踊り2023 参加者募集

昨年3年ぶりとなる第38回仙台・青葉まつりを、感染症対策を施した中で開催、多くの皆様にご来場いただきました。今年も、「通常開催」に近づけるよう開催を計画しております。昨年に続き、仙台の繁栄と安寧を願うと共に、仙台の「祭り文化」と「伝統芸能」を途絶えさせないためにも、新型コロナウイルス感染防止対策を行いつつ、仙台すずめ踊りの「郷土・伝統芸能としての伝承」発信する場となるよう、開催いたします。

- ・年齢 制限なし
※すずめっ子1000人祭連は小学生以下
- ・衣装 和風の衣装（法被姿など）
- ・人数 5人以上の踊り手

仙台・青葉まつり協賛会は、仙台すずめ踊りを仙台の伝統芸能として、100年後に伝えていくことを目指しております。演舞の2/3以上を【すずめ踊り】で構成していただきますよう、お願い致します。

この「参加者募集要項」をよくお読みいただき、「仙台すずめ踊り2023参加申込書」に必要事項を記入の上、メール、郵送・FAXにてお申し込み下さい。公式ホームページからもお申し込みいただけます。参加申し込み締め切り **令和5年2月28日（火）** 必着です。

5月20日 (土) 11:30 ~ 20:00

5月21日 (日) 10:00 ~ 17:00

W12,600 × D10,000

4

CD CD

720

5月20日 (土) 14:30 ~ 19:45

5月21日 (日) 14:35 ~ 16:00

1 15

0.5

すずめっ子1000人祭連※小学生以下での参加となります。詳しくはHPでご確認下さい。

5月20日 (土) 15:30 ~ 15:50

14 30

5月20日 (土) 中央通 : 12:00 ~ 14:00 / 一番町通 : 15:00 ~ 17:00

5月21日 (日) 中央通 : 11:00 ~ 12:30

5/21

5

5月21日 (日) 13:55 ~ 15:30

5月20日 (土) 11:00 ~ 20:00

5月21日 (日) 11:00 ~ 17:00

W9,000 × D3,600

CD CD

5月20日 (土) 11:00 ~ 20:00

5月21日 (日) 11:00 ~ 17:00

W10,000 × D5,000

CD CD

出演者の感染症対策

37.5°

65

5 4 26 6 18
40

5月14日 (日) 14:00 ~ 15:30

W9,300 × D4,550 × H600

CD CD

5月20日 (土) 10:30 ~ 11:20 / 13:00 ~ 13:50

5月21日 (日) 10:30 ~ 11:20 / 13:00 ~ 13:50

W9,300 × D4,550 × H600

6
CD CD

< > 1,200 600

< > 1
5276012

< > 5 4 27

4 27 4 27

参加申し込み締切

令和5年2月28日 (火)